

—スポーツの秋 楽しく体験—

東京五輪ハラ

浜松の大学連携



ブラインドサッカーを体験する生徒＝浜松市立八幡中

八幡中 ブラインドサッカー

思いやりの心学ぶ

浜松市中央区野口町の八幡中の生徒が29日、パラリンピック競技のブラインドサッカーを同校で体験した。同競技元日本代表で静岡文化芸術大の非常勤講師の葭原滋さん(57)の指導を受け、パラスポーツを通じて育む思いやりの心の大切さを学んだ。

ブラインドサッカーは、視覚障害者の選手が周囲の声を頼りに転がると音が鳴るボールをゴールに運んで得点を競う。特別支援学級

の生徒と1年生のサッカー部員がアイマスクを着用し、2人ほど先のコーンを狙ってボールを蹴るゲームなどに取り組んだ。生徒は手やコーンをたたいたり声を出したりして、ボールを呼び込んだ。葭原さんは「友達のために何ができるのかを考えるのは日常生活に通じる。体験を生かしてほしい」と呼び掛けた。

市内の大学が連携して取り組むオリパラ教育の一環。